哲學研究

第三十二卷　第七册

第三百七十六號

昭和二十三年十二月二十五日發行

現實と歴史……文學博士　三宅剛一

カント「判斷力批判」成立に關する一考察（完）……文學士　西田秀穗

我が國上代に於ける家族道德思想の研究（承前）……文學士　木村俊夫
——家族名稱を手懸りとせる——

京都大學文學部內
京都哲學會

大正五年四月六日第三種郵物認可
昭和二十三年十月二十日印刷納本（毎月一回一日發行）

京都哲學會規則

第一條　本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條　本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一　毎月一回研究會ヲ開ク

一　毎年公開講演會ヲ開ク

一　毎月一回哲學研究ヲ發行ス

第四條　本會ノ事務所ヲ京都大學文學部內ニ置ク

第五條　本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一　委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一　書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス

第六條　本會ノ趣旨ニ贊同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得

第七條　會員ハ會費トシテ年三百六十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得

第八條　會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク

第九條　本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士　臼井二尙

文學士　上野照夫

文學士　小田武

文學士　重澤俊郎

文學博士　下程勇吉

文學博士　島芳夫

文學士　園原太郎

文學士　高田三郎

文學士　田中美知太郎

文學士　野田又夫

文學博士　久松眞一

文學博士　本田義英

文學士　松尾義海

文學博士　矢田部達郎

文學博士　山內得立

文學博士　井島勉

の語に含められてゐた當初の、敬・愛・美稱的意義は消失し、後世に於けるが如き單なる稱呼と化して行く、さう云ふ過程の上にあつたものと見なくてはならぬであらう。

（未完）

註一　開化天皇紀、並に垂仁天皇紀四年の條參照。

前號目次

文藝特に小說の根源的構造（承前）……文學博士　植田壽藏
我が國上代に於ける家族道德思想の研究（一）……文學士　木村俊夫
—家族名稱を手掛りとせる—
聖アウグスチヌスに於ける同心の問題（承前）……文學士　山田晶
—確實性の探究（自覺の知的面）—

會　告

一　本會ハ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂書房内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候

一　會員ノ轉居入退會等（編輯事務以外ノ一切）ノ事務ハ弘文堂書房内京都哲學會係ヘ御通知被下度候

一　會費ハ「振替口座**京都一九五五六番**　京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候

一　前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章押捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候

一　本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學文學部内　京都哲學會

註文規定

一　會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候

一　本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候

一　特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券四圓御送付下され度候

昭和二十三年十月二十日印刷納本
昭和二十三年十月二十五日發行

編集人　京都哲學會　京都大學文學部内
右代表者　小田　武

發行兼印刷人　八坂淺太郎　東京都千代田神田駿河臺四ノ四

印刷所（京都七九）弘文堂印刷部　京都市田中西浦町四〇

配給元　日本出版配給株式會社　東京都千代田神田淡路町二ノ九

發行所　弘文堂書房　東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定價			
冊數	定價	郵税
一冊	三十圓	金二圓
六冊（前金）	百八十圓	金十二圓
十二冊（前金）	三百六十圓	金二十四圓

（誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします）

大正五年四月六日
第三種郵便物認可
昭和二十三年十月二十日印刷納本（毎月一回
昭和二十三年十月二十五日發行）

哲學研究 第三百七十六號

定價金二十圓
（郵稅金二圓）